

市民とともに歩む半田の農業!!

6次産業化農業者支援プロジェクトについて

6次産業化農業者支援プロジェクトとは?

半田市は、孤立しがちな小規模農家をつなげ、地域農業を活性化するため、「6次産業化農業者支援プロジェクト」を立ち上げました。そのプロジェクトの中核として位置づけられているのが「にこもぐ」です。

農家×行政でできた「にこもぐ」。これからも一緒に進んでいきたいです。



経営相談から情報発信、各種イベント開催まで

半田の農業を市民に知ってもらうために

令和元年度市民アンケートでは、地場の農産物への魅力が低いという結果に。そこで、半田市の農業を知ってもらうため、まずは認定農業者等へのヒアリングからみえた課題に取り組み、市民と農業を近づけることにしました。

農業情報パネルの作成・展示



半田市農業
なんでも相談
窓口の開設

「情報とつながりと販売場所がないので、その支援が欲しい」との声を基にプロジェクトがスタート!



にこもぐPR
ツールの制作

「〇〇と語り合う会」の開催

「農家同士のつながりや情報が欲しい」がきっかけ・・・

令和5年6月に開催された第1回「〇〇と語り合う会」のゲストは、久世市長。当初は、農家同士のつながりはほとんどありませんでした。「〇〇と語り合う会」は、農家同士のつながりだけでなく、市民や高校生、飲食店の方など、普段関わることがない様々な人々の交流の場になり、新たなつながりが生まれました。



半田にたくさんの農家がいることを初めて知りました!

市民と
語り合う会



高校生と
語り合う会



▲半田東高校文化祭に参加

“にこもぐ”とは?を、農家のみなさんに尋ねました!

何かが生まれる場所が、にこもぐ
ヒントがもらえ、勉強できる場所がにこもぐ
市民の声が直接聞ける場と機会が、にこもぐ
農家同士が仲間となつて、助け合えるのがにこもぐ
自立した農家が意見を言い合える関係性の場が、にこもぐ
それぞれ違った意見が出て仲間として尊重するのが、にこもぐ

マルシェ

〇〇と
語り合う会

コラボ
メニュー

情報発信

複合イベント
への参加